

シダックス、優先株消却

25億円分、配当負担を軽減

先株を発行した。配当負担が重い優先株を買い入れた。ユニゾンは取得後に消却して財務体質を改善する。

シダックスは31日、投月1日に取得し、同日消却すると発表した。シダックスは19年、40億円の「B種優先株式」と25億円の「C種優先株式」を投資ファンドのユニゾン・キャピタル（東京・千代田）から事業の不振などで業績が低迷し、2019年に優先株を7億9900万円分を低減し、2022年3月期にシダックスはC種株の配当として2億円を支払う。

同期の普通配当の総額は1億9900万円、ほぼ同額だった。B種優先株式はユニゾン・キャピタルが引き続き保有しており、発行時の条件によると22年7月以降に普通株式に転換できる。